

黒井・犯罪被害者として警察に被害届け 回答待ち**市 委員会に土壤汚染など虚偽報告も判明**

5月12日(月)金山三郎さんは下関市生活安全課を訪れ、市の犯罪被害者支援条例に基づき、自分が詐欺、不法投棄、不動産侵奪の犯罪被害者であり、相談に来た旨を伝え、市の市民相談所に案内され、その担当者に事情を説明した。その担当者は金山さんが犯罪被害者であるとの説明に「話を聞いた限りではそのようだ」と話し、市の毎週月、木と弁護士による無料の「市民相談」（一人30分）を紹介してくれた。

第10回ニッコリ会総会**6月14日（土）13:30~16:00****下関市民活動センター ・ 中会議室****（駅前人工地盤から入ります）**

金山さんの相談予約を担当者が受付けてくれたが、「弁護士の都合が悪く」と二度連続キャンセルとなり、三度目の予約でやっと市内のA弁護士に相談に乗ってもらい、金山さんの説明をよく理解してもらえたが弁護人依頼は断られた。相談は5回まで出来るので、粘り強く相談をしたいと金山さんは言う。

5月22日（木）金山さんは下関警察署（生活安全課）を訪れ、自分が詐欺、不法投棄、不動産侵奪の犯罪被害者であり、先に民事訴訟での上田某に全責任ありとの確定判決をふまえ、被害届を受理してもらいたい旨を縷々説明した結果、担当者から「検討して、なるべく早く連絡します。」との回答をもらった。

上田某は金山さんを騙した1年前に下関市長府扇町の市港湾局の土地に不法投棄、不動産侵奪していたため、下関市から平成23年6月に刑事告訴され、警察は本人から事情聴取と実況見分までしていたが、市は平成24年5月17日の市建設委員会でその告訴取り下げを決めた。その時の市港湾局参事の説明をネットで知ることが出来る。（市議会議事録の平成24年5月17日、市建設委員会・建設委員長 菅原明）

◎港湾局参事（阪田高則君）

（前略）その後、警察において被告訴人である上田某（名前省略）並びに関係者への事情聴取を行った結果、廃棄物等の撤去はすべて行ったとの証言があり、また、市が行った土壤調査の結果においても、当初、懸念していた廃棄物や有害物などの埋設は確認されませんでした。また、「膳家」が利用する前の現地の現状が明らかでないことから、搬入されたと考えられる土砂量についても明確に算出することができない状況である。（略）、本告訴を取り下げることといたします。（後略）

https://ssp.kaigiroku.net/tenant/shimonoseki/MinuteView.html?council_id=887&schedule_id=1&is_search=false&view_years=2012 （平成24年5月17日 市議会建設委員会議事録 ）

この発言は建設委員会であっさりと了承された。市はその2年後の3月にこの土地を破格で売却した。

しかし、その発言内容に反しそこには産業廃棄物はあったし、市が委託した土壤検査結果には特定有害物質である「ふっ素とその化合物」が基準値以上に検出されていたことを金山さんの情報公開請求が明らかにしていた。平成24年3月の環境テクノス(株)の土壤調査の報告書（添付）からは土壤溶出量試験及び土壤含有量試験で基準値を超えていることを示している。阪田氏の発言はこの報告書が出た後である。

またこのような特定有害物質は遮蔽型処分場で厳重に最終処分するように法規定されているにもかかわらず、平成26年3月にこの土地（4,322.15㎡）はそのまま市から破格(3,000万円)でB社に売却され、そこに

は建屋が建てられている。果たして基準値以上の特定有害物質・ふっ素とその化合物の影響はないのか。

国連人権理事会は是正求める

世界市民100万署名はじまる

本年4月から高校無償化制度が大きく変わった。公立高校は家庭の所得制限なく、すべての家庭が年間11万8,800円 支援を受けられるようになり、私立高校は基本支援金11万8,800円（全家庭対象）＋追加支援金として年間39万6,000円（年収590万円未満の家庭対象）となる。つまり年収400万円の場合は支援金は両方合わせて年間51万4,800円の支援となる。これに対して朝鮮学校は唯一の対象外であり、高校無償化が開始されてゼロのまま15年目を迎えている。そうして山口朝鮮初中級学校はそれまで18年間支給されてきた教育補助金が朝鮮学校の高校無償化決定に連動して山口県・下関市がカットして13年目を迎えた。



5月25日の大運動会で健闘した生徒たち

高校無償化は民主党政権により高校と専修学校、各種学校も含み2010年4月施行された。このような差別に対して国際人権（ヒューマンライツ）各委員会及び国連人権理事会は何度も日本政府及び地方自治体に対し、是正勧告を続けている。それを「法的拘束力はない」として無視し続けてきた日本は自らを先進国といっているが、戦後世界が目指す先進国では常識の人権三点セット（差別禁止法、国内人権機関、諸条約付随の個人通報制度）も持たない人権後進国なのである。

この日本の朝鮮学校差別を止めさせるために4月24日～26日と釜山で行われた朝鮮学校差別撤廃の国際会議に内岡貞雄さん（朝鮮学校を支援する山口県ネットワーク世話人代表）が九州、山口の朝鮮学校支援の五者連共同代表として他の日本の市民団体と共に参加。主催した釜山市の二つの朝鮮学校支援の市民団体は日本と米国、ドイツ、オーストラリアの支援団体と共に朝鮮学校差別撤廃の世界市民100万人署名を成功させ国連に送り、日本政府に圧力を加えることを提起し、賛同を得て5月中旬から早速ネット署名が始まった。（別紙 内岡さんの報告参照） またネット署名は別紙のURコードをスマホで読取り、それに日本語で氏名、住所、メールアドレスを入力すれば即署名が成立する。朝鮮学校差別は日本の人民の力だけでなく国際的な市民連帯で解決する動きが始まった。朝鮮学校を支援する世界市民100万人署名を成功させて国連から日本へ圧力を加えるようにしよう。

朝鮮学校運動会に行ってきました 5月25日、心配された雨も止み、朝鮮学校の大運動会「祝！総連結成70周年 山口ハッキョ同胞大運動会」を観に行った。例年のように子どもたちの一生懸命の競技が心を爽快にさせてくれた。でも生徒数が減ったのが気になった。

観覧していた私たちも参加をとの声がかかり、くす玉割に参加させてもらった。紅組、青組に分かれて子どもたちと一緒にくす玉めがけて投げたお手玉が当たったり、当たらなかったりで意外と難しい。それでも割れるまで投げ続けるとくす玉は割れ、紅組の勝ち、なのだが青組に加勢してお手玉を投げつけてくす玉を割って終わるという、楽しい競技だった。運動会が終わると早速恒例の焼肉会となった。テーブル上の七輪に炭火が起こされ上等な肉と出汁が用意される。毎年1回の運動場のテント下の焼肉会はみんな

伊左治佳孝さん達を応援しよう

ピーヤからの遺骨発掘・潜水調査

6月18日（水）12:30～/19日（木）09:00～

※参加希望者はこちらをご覧ください（欽野）

との楽しいひと時となる。これからも引き続き共に官製ヘイトを打ち破るまであきらめないで行こう！